

Iさん 34才 (S53年産れ)

歳森先生、二人には、ご無沙汰しています。

息子は9ヶ月になり、つたい歩きも到達しました。元気一杯、わんぱくに育ってくれています。育児で忙しいけれど充実した毎日です。「生まれてきてくれてありがとう」と毎日自然にこの言葉が出てきます。

あの時諦めなくてよかった。歳森先生に出合えてよかった。漢方に出合えてよかった。本当にそう思います。

不妊治療は「終わりの見えないトンネルのよう」と例えられますが、私にとって、真、暗闇でわずかな光も見えずどこに向かっているのかもわからない不安でとても辛いものでした。歳森先生の薬局を言われたのは、本格的な不妊治療をはじめた2年半の時でした。人工授精9回、体外授精4回(採卵のみ4回で一度も移植できず)してもうまいかず、心も身体もボロボロの状態でした。いろいろな治療法で採卵しても移植に至らず、AMHも低い状況に、治療に取り組む気力、さらには授かるという希望すら無くしかけていました。「薬にもつかず」そんな気持ちでした。

一通り治療歴と基礎体温を見てくれた「あった」と。

「きっと大丈夫!! 諦めずに頑張りましょう」と言われました。通院していた病院では、期待するような言葉は言わないという方針だったのかわかりませんが、こんな風に前向きな言葉を言われた事がなかったので正直驚きました。けれど、歳森先生の自信に満ちた力強いこの言葉と穏やかな優しいまなざしに癒され、緊張していたのもありますが、一気に大きな安心感に包まれていつのまにか涙が出ていました。

「私にはまだ希望があるんだ!! また元氣張れるんだ!! 先生も漢方も、そして自分自身も信じて前に進もう」と強く思いました。この時の出会い、先生の言葉、自分自身の気持ちの変化がトンネルにさした光だったのだと思います。

歳森先生からの提案は、治療をお休みし(体外へのトライや誘発剤を使わないという意味、病院に行かないという意味ではありません)漢方と栄養素を使い、日々の食事や生活習慣を見習い、根本的な身体作りをし、妊娠しやすい基盤を作ろうというものでした。今まで毎周期休みなく治療し続け、AMHも低い私にとっては、周期周期が「大事で、一度たりとも無駄にしたいくないと思っていたので、休むことに戸惑いがありました。けれど「3、4ヶ月で必ず身体は変化するから」の先生の言葉を信じることにしました。2週間一度の相談では、毎回先生とのお喋りに癒され、くよくよした時には、明るく心に真直ぐ入ってくる「大丈夫よ!!」の先生の言葉に何度も励まされました。歳森先生との相談を重ねるうちに、少しずつ自分の体への意識が変化し、今までのように病院の提案通りに治療するべきではないなと考えるようになりました。もちろん病院からはきちんと薬や治療の説明はありましたが、勉強不足だった為、薬や治療のメリットやデメリット、自分の体なのに「体への負担など」をあまり考えていなかったからです。今後はきちんと理解し、こちらからも提案できるように勉強し、納得した方針を相談して決めようと思うようになりました。

漢方・栄養素をはじめ、3、4ヶ月経つと体調に嬉しい変化がありました。全体的に低くガタガタしていた基礎体温が、平均値が少しずつ上がり、高温期の日数も長くなっていました。理想的な形とはいかないまでも、低温期と

<参考に…>

	平均	36.6以上	36.7以上
以前	36.31	5~8日	0~3日
3ヶ月後	36.37	9日	4日
4ヶ月後	36.41	11日	5日

高温期がきちんとわかれたようになっていました。
「良い卵子が排卵されはじめた言正卵子」と
先生に言って頂き嬉しさと共に次の体外への挑戦
にも意欲が出ました。良い卵子のできる身体作りが
出来かけているのだから、焦らずに私に合う治療を採

そう考えはじめ、他の病院の意見や方針を聞いてみようと思うようになり、いくつかの病院へ
説明会や初診に行くことになりました。治療を休むというだけで戸惑いのあった自分が、
その頃には、焦りや不安よりも「より自分にあった治療の為に」という意識に変化して
いました。不思議です。そして、卵子の質に着目し治療している病院があり、遠距離の
通院になるけれどこちらで体外に挑戦しようと翌々月から転院することに決めました。
他の病院に意見を求めた事は、治療の選択肢が増え、通院していた病院の良さに改めて
気付く。そして自分の納得できる治療方針の病院にまで「あえ、私にはいい事づくめでした。
そして転院しようとした月になり、生理がはじまったら通院の予定でしたが、なんと
自然に女々娠していました。

「あれだけうまくいかなかったこの私が?? 移木直すら出来なかったのに!?! しかも自然に女々娠??」
と大きな大きな驚きでした。それからゆっくりともっと大きな喜びになりました。初めての
女々娠で不安がなかったわけではありませんが、「流産予防やつわり軽減の漢方を処方して
頂き、先生から「大丈夫、信じてワクワク楽しみに過しなさい」とアドバイスされ、女々娠中も
身体と心の両方をしっかりサポートして頂きました。おかげでつわりも軽くすみ、体調も
よくつわり調で、明るく楽しい気持ちで出産に備えることができました。

妊娠した事で、自分自身の「身体」が何よりも基盤であり、大切なことを身をもって学ぶことが出来ました。そして身体作りに漢方や栄養素が効果的であること、食事や生活習慣の大七かさにも気付くことが出来ました。今は、以前の私はなぜ自分の身体に目を向けていなかったんだろう...と思うほどです。今、家族に息子がカロワリ、三人でいられるのは、これらの重要性を教えて下さり、私にあった漢方や栄養素を処方し、精神的にもサポートして下さった歳森先生のお陰だと思っています。本当にありがとうございます。身体作り...は、きっと妊娠だけでなく健康でいる為にも大切なものですね。家族が健康でいる為にも、食事や生活習慣にはこれからも気をつけていこうと思います。息子を元気一杯に育てます!! 歳森先生、たくさん学びもありがとうございます。

今、辛く苦しい時間を過ごしている方...、どうか諦めないうで、赤ちゃんを望むご夫婦のもとに幸せが言われますように。

P.S. 二人目をとっています。またお世話になるかもしれません。その時はどうぞよろしくお願ひします。

あたにかくなったら、息子を連れて遊園地に行かせて下さい!

昔々歩がら 久しぶりに先生のパワーを頂きたいです♡